

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 (1/2)

眠りから覚めた戦国城下町一乗谷の
発掘調査・整備・研究・展示をしています

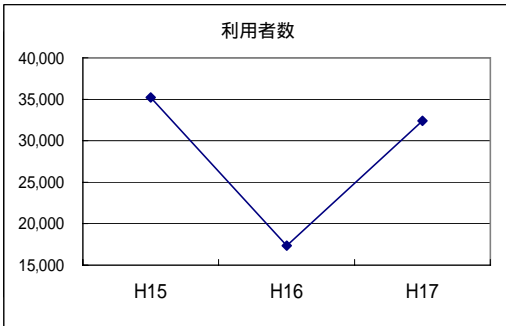
所在地	福井市安波賀町4-10		
設置年月日	昭和56年8月20日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡に関する資料の収集、保管および展示等を行うとともに、遺跡の発掘調査、整備、研究等を実施し、県民の文化の向上に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造 一部2階建 延面積 2,052㎡ 展示室・講堂 出土遺物約160万点収蔵		
職員数	職員7人 非常勤嘱託4人 アルバイト2人 計13人		

利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	35,212	17,354	32,391

利用者負担(利用料金)等 単位:円

入館料	常設展	100
	企画展	400・300・200
	団体	2割引



利用状況の推移
 平成15年度は、3万5千人が来館しました。
 平成16年度は、福井豪雨(平成16年7月18日)の被災により、来館者数は1万7千人と大幅に減少しました。(平成16年7月18日から9月30日まで休館、10月1日から仮オープン、平成17年1月3日から本格オープン)
 平成17年度は、企画展「花咲く城下町一乗谷」を開催し、6,629人が来館。年間来館者数は3万2千人まで回復しました。

平成17年度の特色について

事業実績	一乗谷朝倉氏遺跡の発掘・整備等事業 ・中期第3次10ヵ年計画がスタート(発掘・整備事業) ・災害復旧事業、重要文化財指定に向けた出土遺物リストの作成 企画展開催 ・「花咲く城下町一乗谷」(10/7~11/20) 図録作成 記念講演会・解説案内 誘客・集客対策 ・遺跡案内ボランティアの養成(20名)、福井県観光商談会でPR、旅行者へ行事案内送付 地元等との連携・協力 ・「国民文化祭・ふくい2005」朝倉文化フェスティバル協力 史跡ウォーク、写真・絵画展 ・皇太子殿下下行啓(10/23) ・朝倉氏遺跡保存協会等との共催事業開催 朝倉系桜まつり他 ・一乗小学校と連携・協力(企画展開会式で「戦国絵巻」合奏 生徒30名) 研究成果等の発表 ・遺跡見学会・講座・講演会の実施(6回300人参加)、資料館要覧を一新し配布
------	--

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の活用

貴重な歴史的遺産である朝倉氏遺跡の保存を図るとともに、地域住民、観光等関係団体、行政機関の連携により、遺跡とその周辺地域について、観光振興およびイメージアップへの活用を推進することを目的として、活用推進協議会を設立し、来訪者増を図っています。
 平成17年度は、遺跡案内ボランティアの養成や共通観覧券の販売等を実施しました。

販売実績	平成16年度	平成17年度
共通観覧券	5,566	8,239
朝倉いっぶく茶	3,385	6,126

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査・整備のスピードアップと魅力の向上

第3次中期発掘・整備計画が前計画を2年度繰り上げてスタートしました。
 特に、山城の発掘整備や出土品の重要文化財指定に取り組む計画です。
 平成17年度は、遊歩道沿いの武家屋敷、町屋、寺院跡のある雲正寺地区の発掘と環境整備を実施し、重要文化財指定に向けて、出土遺物のリスト約8,000点を作成しました。



観光との連携

県観光連盟と連携し、大阪・岡山・名古屋・福岡で旅行代理店等に対し、誘客のためのPRをしました。
 市観光協会の 温もり夢街道ジョイントラリー (永平寺・美山・福井)に協力しました。
 当資料館見学の旅行者をリストアップし、行事案内を送付しました。

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館(2/2)

朝倉義景館跡全景(南から)



行政コスト計算書(平成17年度)

(単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	77,118	67.7%	101.4%
	退職給与引当金繰入	210	0.2%	-
	計	77,328	67.9%	104.4%
物にかかるコスト	物件費	19,970	17.5%	97.7%
	維持補修費	3,175	2.8%	19.2%
	減価償却費	12,701	11.2%	112.2%
	計	35,846	31.5%	74.2%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	-
	その他	714	0.6%	188.4%
	計	714	0.6%	188.4%
合計		113,888	100.0%	92.8%

バランスシート(平成18年3月31日現在)

(単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	404,158	固定負債	55,230
投資等	0	流動負債	0
流動資産	0	正味資産	348,928
計	404,158	計	404,158

施設の特徴	<p>特別史跡・特別名勝一乗谷朝倉氏遺跡の発掘・調査・整備・研究を実施するとともに、その研究成果を発表・展示しています。</p> <p>先駆的な大規模遺跡として、全国的に注目を集めています。</p> <p>福井県の知名度アップや集客力の向上に寄与しています。</p> <p>県民の郷土に対する理解を深め、他県に対して誇りとなっています。</p>
今後の課題	<p>遺跡の発掘・整備を促進し、観光資源としての活用推進</p> <p>出土遺物の重要文化財指定など展示レベルや展示機能の向上</p> <p>新規来館者確保のための情報発信</p>

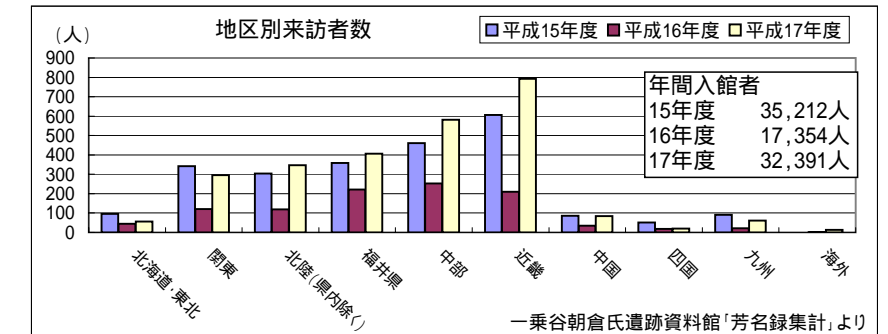
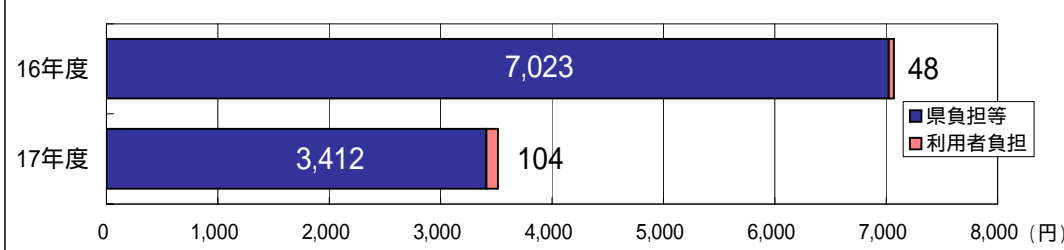
(単位 千円)

収入	利用料等収入	3,358	2.9%	402.6%
	その他収入	3,336	2.9%	126.8%
	一般財源	107,194	94.1%	89.9%

(前年比)

利用料等収入計	3,358,000 円	402.6%
利用者1人あたり平均利用料	104 円	216.7%
利用者1人あたりコスト	3,516 円	49.7%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

- 施設の設置が昭和56年度と古く、減価償却費の割合は低くなっています。
- 人にかかるコストの割合が多いのは、朝倉氏遺跡の発掘整備に従事する専門職員の人件費が含まれているためです。
- 有形固定資産の92%、約3億7千万円は建物と土地に対するもので、収蔵数約160万点の出土遺物は有形固定資産には含まれていません。
- 利用者1人あたりの平均利用料は、常設展観覧料が無料の高齢者および高校生以下の来館者が多いため、低額(104円)となっています。
- 利用料等収入、1人あたりの平均利用料が前年度の4倍、2倍と多くなっていますが、福井豪雨被災から復旧したため利用者1人あたりコストも1/2となっています。

今後の事業方針	<p>一乗谷朝倉氏遺跡新10年整備・活用計画(平成17年度~26年度)に基づき、朝倉氏遺跡の整備を促進し、観光・イメージアップへの活用を推進します。</p> <p>未調査地の試掘調査、遊歩道沿いや山城の発掘調査</p> <p>発掘調査済み地区の平面復原・立体復原整備</p> <p>出土遺物の重要文化財指定に向けた取り組み</p> <p>資料館展示機能・展示内容の検討や課題の洗い出し</p> <p>体感出来る遺跡、魅力ある遺跡の実現</p>
取り組み内容	<p>重要文化財指定対象遺物の接合・復原等補修作業を実施中です。</p> <p>山城(馬出地区)の試掘および砂防激特事業に伴う山地部の発掘調査中です。</p> <p>企画展「古文書が語る朝倉氏」を開催しました。</p> <p>友の会だより、資料館要覧を全国に送付します。</p> <p>遺跡案内ボランティア養成講座を開講し、20数名が活躍しています。</p>